

# 心臓病等総合支援センターの活動 -心臓病領域-

京都府立医科大学 附属病院  
循環器内科 的場聖明



# 京都府脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

京都府

京都府循環器病  
対策推進計画

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

学会等の関連団体、他府県医療機関との  
綿密な連携体制が特徴

脳卒中相談・支援

心臓病相談窓口開設準備

- ・脳卒中療養支援センター設置
- ・脳卒中専門医と多職種による支援
- ・脳卒中相談マニュアルの活用
- ・小児期から成人期まで一貫した支援
- ・市民公開講座の定期開催、病院HPの活用
- ・地域医療機関対象研修会、勉強会等
- ・脳卒中患者・家族用冊子の開発

循環器病  
総合支援  
プロジェクト  
委員会

モデル事業  
の推進と評  
価を支援



京都府立医科大学附属病院

府内の地域医療ネットワークや近隣府県  
病院と連携した地域支援体制が特徴

心臓病相談・支援

脳卒中相談窓口併設

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口設置
- ・京都心不全ネットワーク協議会参加施設によるフォロー
- ・心不全手帳・心不全手帳アプリ版の活用
- ・小児期からの循環器・脳卒中サポート
- ・アドバンス・ケア・プランニングをサポート
- ・リハビリテーション支援センターによる府内リハビリテーションの均てん化
- ・高次脳機能障害の就労支援
- ・パンフレットの作成・YouTube配信等

医師会等  
関係団体

関係学会



地域リハビリテーション  
支援センター

脳卒中（急性期・慢  
性期・維持期を）を  
担う病院

患者団体

診療所

心臓病（急性期・慢性  
期・再発予防医療）を  
担う病院

介護保険事業所

地域医療支援  
病院

保健所  
市町村



2つの大学病院の一体的な取組による府内全域の包括的な支援体制モデルを構築



全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化       | (4) 都道府県による計画の策定           |
| (2) 他の疾患等に係る対策との連携            | (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化 |
| (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策 | (6) 基本計画の評価・見直し            |

<循環器病の特徴と対策>



# ①循環器病を予防する健診の普及や取り組みの推進

第2期循環器病対策推進基本計画 概要	
実施目標	2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年間罹患死亡率の減少
1. 循環器病の予防や重症化の遅延の推進	2. 医療・介護サービスの連携による生活習慣病の予防
3. 循環器病の重症化の遅延	4. 循環器病の重症化の遅延
5. 循環器病の重症化の遅延	6. 循環器病の重症化の遅延
7. 循環器病の重症化の遅延	8. 循環器病の重症化の遅延
9. 循環器病の重症化の遅延	10. 循環器病の重症化の遅延
11. 循環器病の重症化の遅延	12. 循環器病の重症化の遅延
13. 循環器病の重症化の遅延	14. 循環器病の重症化の遅延
15. 循環器病の重症化の遅延	16. 循環器病の重症化の遅延
17. 循環器病の重症化の遅延	18. 循環器病の重症化の遅延
19. 循環器病の重症化の遅延	20. 循環器病の重症化の遅延

## I. 漫画冊子を作成・配布して疾患啓発と予防



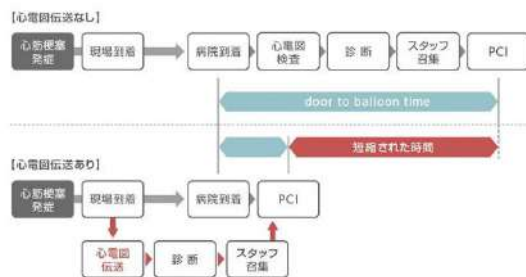
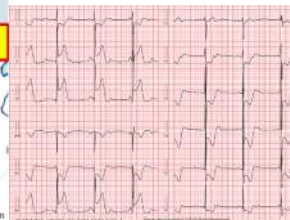
## II. 市民公開講座で 高血圧や心房細動の知識普及や心房細動アプリ開発



### ③救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築

実施年度	2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年間罹患死亡者の減少
【目的】	循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進、救急医療体制の強化、救急医療の質の向上を図る。
【重点】	循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進、救急医療体制の強化、救急医療の質の向上を図る。
【施策】	<ol style="list-style-type: none"> <li>循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活習慣病の予防・早期発見・早期治療の推進</li> <li>② 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進</li> <li>③ 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進</li> </ul> </li> <li>救急医療体制の強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 救急医療体制の強化</li> <li>⑤ 救急医療体制の強化</li> <li>⑥ 救急医療体制の強化</li> </ul> </li> <li>救急医療の質の向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 救急医療の質の向上</li> <li>⑧ 救急医療の質の向上</li> <li>⑨ 救急医療の質の向上</li> </ul> </li> </ol>

## I. クラウド型12誘導心電図の普及と検証



伝送された12誘導心電図をみて、患者が搬入される前にスタッフを召集できる。搬入後すぐにカテ室入室が可能になる。



## II. 京丹後地域、京田辺市、舞鶴市実装済 → 南丹地域、福知山地域、山城地域で試験運用中

Chain of Survivalを地域全体で普及



# ⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策



## I. 移行期支援用パンフレット作成、配布



## II. 移行期支援センター設置のためのWG設置及び実態把握アンケートの準備

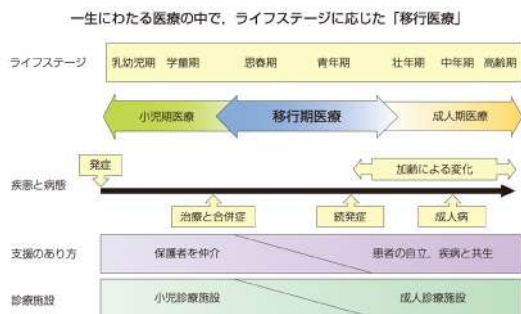


図1 移行医療の概念図

### 移行期医療アンケート

小児期医療から成人期医療への移行に関しても、ご意見・ご感想などご協力をお願いいたします。  
このアンケートは個人が特定されない形で集約集計させていただきます。『移行期医療支援センター』運営のために利用いたします。それ以外の目的で使用されることはありません。

※必須の欄です。

1. 回答者\*

1つだけマークしてください。

- 患者本人
- 両親
- 両親以外の家族
- その他

2. 年齢\*

\_\_\_\_\_

3. 性別\*

1つだけマークしてください。

- 男性
- 女性

### 4. 通院診療科 (複数選択可)

当てはまるものをすべて選択してください。

- 小児科
- 小児外科
- 小児心臓血管外科
- 循環器内科
- 内分泌・糖尿病・代謝内科
- 血液内科
- 脳神経内科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- その他: \_\_\_\_\_

### 移行期医療に関するニーズ調査

小児期医療から成人期医療への移行にあたり、移行期医療支援センターに希望する支援内容についての調査になります。小児科医療・成人期医療それぞれに対する不安や不満を含め、患者さん自身のご意見を聞かせてください。あなたの回答が外部にもれることはありません。

5. 1. あなたは成人期医療へ移行したいですか？

1つだけマークしてください。

- はい
- いいえ
- わからない

全体目標 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策 循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基礎】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に関する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

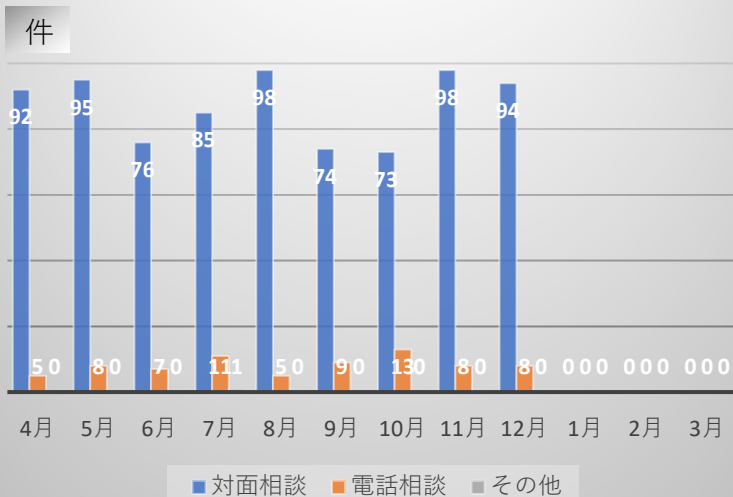
循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>



月別相談件数



⑩ 循環器病に対する適切な情報提供・相談支援

2024年度 相談実績

【循環器】： 860件 (4～12月)  
 (対面 785件・電話 74件・その他 1件)

相談内容 ※相談件数の多い項目	件数
治療	260
症状・副作用・後遺症	108
社会生活（就労・学校）	78
生活費・社会保障制度・医療費	48
食事・服薬・入浴・運動・外出	715
不安・精神的苦痛	353
介護・看護・養育	67
患者会・家族会（ピア情報）	3

全体目標 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

**個別施策** 循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

**【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備** 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

<p><b>1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 循環器病の発症予防及び重症化予防</li> <li>○ 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進</li> <li>○ 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握</li> </ul>	<p><b>2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進</li> <li>② 救急搬送体制の整備</li> <li>③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築</li> <li>④ リハビリテーション等の取組</li> <li>⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援</li> <li>⑥ 循環器病の緩和ケア</li> <li>⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援</li> <li>⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援</li> <li>⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策</li> <li>⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援</li> </ol>
<p><b>3. 循環器病の研究推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進</li> <li>○ 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進</li> </ul>	

**循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項**

(1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化	(4) 都道府県による計画の策定
(2) 他の疾患等に係る対策との連携	(5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
(3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策	(6) 基本計画の評価・見直し



## ④リハビリテーション等の取組

## ⑥循環器病の緩和ケア

## ⑦社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援

## ⑩循環器病に対する適切な情報提供・相談支援

- ・ 支援センター定例会議開催 1回/2か月
- ・ 多職種による組織的な相談支援体制の構築
- ・ 心不全患者看護会議開催 病棟・外来・地域連携室 1回/3か月
- ・ 毎週月曜開催 多職種ミーティング 28回開催予定

・ 7/19～：多職種連携（医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士）による入院患者対象 心不全教室開催（～12月）までに294名参加

昨年度とあわせて延べ人数600名を突破

・ 本院リハビリテーション科Drとの連携による支援体制の構築

全体目標 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策 循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

### 1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

### 3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に関する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

### 2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

### 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

### <循環器病の特徴と対策>



## ⑧治療と仕事の両立支援・就労支援

- ・ 相談員が両立支援コーディネーターとして相談対応
- ・ ハローワーク（2回/月）京都産業保健センター（1回/月）  
予約制の定期対面・WEB相談連携
- ・ 先天性循環器疾患や移行期にあたる患者に移行期医療 支援センターとして介入。

治療と仕事の両立支援として、就労支援し、休職・復職・転職等支援継続中

## ⑤循環器病の後遺症を有する者への支援

・ 先天性心疾患治療中、意識消失期間長く、今後の学習のフォローを見据え、京都府リハビリテーション支援センターと連携し高次脳検査を実施事例あり。

・ 退院後スムーズに復学できなかった高次脳機能障害児に対してリハビリ施設と学校関係者と本院（医療機関）でのカンファレンス開催の結果、復学できるようになった事例あり。

・ 本院リハビリテーション科Drとの連携による支援体制の構築

# ⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対応

【別紙1】 第2期循環器病対策推進基本計画 概要

全体目標 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策 循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な仕組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発  
 ○ 循環器病の発症予防及び重症化予防  
 ○ 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進  
 ○ 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実  
 ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進  
 ② 救急搬送体制の整備  
 ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築  
 ④ リハビリテーション等の取組  
 ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援  
 ⑥ 循環器病の緩和ケア  
 ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援  
 ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援  
 ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対応  
 ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

3. 循環器病の研究推進  
 ○ 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進  
 ○ 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項  
 (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化 (4) 都道府県による計画の策定  
 (2) 他の疾患等に係る対策との連携 (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化  
 (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策 (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>  
 啓発・予防（一次予防、二次予防、三次予防） → 急性期 → 回復期～慢性期 → 生活期・維持期  
 再発・合併症・重症化予防

【患者側のアウトカム】  
 必要なケアが中断されることなく  
 自分に見合ったヘルスリテラシーを獲得し、安心して成人移行できる



- ① 大人になっても良質の医療が継続される
- ② 医療だけでなく、心理・社会的な問題や教育、就労支援など多面的な視点で支援をうけられる
- ③ 主体となって自己管理できるようになる

患者の発達段階に応じた移行支援

・ ACHDカンファレンスの定期開催（1～2回/か月）

・ 移行期医療支援センター 定期会議  
 今年度12月までに4回開催  
 昨年度から11回開催

対象者にニーズアンケート実施

・ 循環器の移行期医療支援としては延べ人数計136名

・ 移行期医療支援センター「移行期支援看護外来」開設  
 今後、取り組みの一環として「健康カード」考案中

## 移行期支援看護外来

けんこうカード

（医療側から見た）  
 トランジションに課題のある患者の減少（スムーズなトランジション）

# 今年度の講演会では、在宅支援者対象で講演会を4回開催

**6/27**  
(木)  
12:30 開始  
約30分予定

京都心不全ネットワーク協議会主催講演会  
在宅でのケアにあたる医療・介護従事者対象  
**在宅で心不全をみるには…**

超高齢化社会を迎え、心不全パンデミックの懸念がひろがっています。在宅でのケアにあたられている支援者の皆様、どなたでも参加できる講演会を予定しています。ふるってご参加ください。

- 心不全とは... 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科 講師 白石 裕一
- 心不全の原因と治療について...洛和会音羽病院 心臓内科 副部長 栗本 律子
- 在宅での心不全指導について...洛和会音羽病院 外来師長 慢性心不全認定看護師 福田 紘
- 心不全の在宅での運動療法について... 京都府立医科大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 山端 志保
- 循環器病総合支援センターについて... 京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター 櫻木 知子

開催方法：zoom配信

参加 Zoom ミーティング  
https://zoom.us/j/91301467967?pwd=6YM17UJiTeN0qD6sdyAs6IsgZmD.1

ミーティングID: 913 0146 7967  
パスワード: 575625

お問合せ  
京都心不全ネットワーク事務局：075-251-5824

**9/19**  
(木)  
12:30 開始  
約30分予定

京都心不全ネットワーク協議会主催講演会  
在宅でのケアにあたる医療・介護従事者対象  
**在宅で心不全をみるには…**

超高齢化社会を迎え、心不全パンデミックの懸念がひろがっています。在宅でのケアにあたられている支援者の皆様、どなたでも参加できる講演会を予定しています。ふるってご参加ください。

- 心不全とは... 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科 講師 白石 裕一
- 心不全の運動療法について... 京都府立医科大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 山端 志保
- 循環器病総合支援センターについて... 京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター 櫻木 知子

事前申し込み 不要 開催方法：zoom配信  
参加 QRコード⇒

参加 Zoom ミーティング  
https://zoom.us/j/93611193834?pwd=eVZdPbPOsNoZmBEYAVPMbOCRWuCSdZ.1  
ミーティングID: 936 1119 3834  
パスワード: 731487

お問合せ：京都心不全ネットワーク事務局  
075-251-5824：AM9～12 PM13～16

**8/29**  
(木)  
12:30 開始  
約30分予定

京都心不全ネットワーク協議会主催講演会  
在宅でのケアにあたる医療・介護従事者対象  
**在宅で心不全をみるには…**

超高齢化社会を迎え、心不全パンデミックの懸念がひろがっています。在宅でのケアにあたられている支援者の皆様、どなたでも参加できる講演会を予定しています。ふるってご参加ください。

- 心不全とは... 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科 講師 白石 裕一
- 在宅での心不全指導について... 洛和会音羽病院 外来師長 慢性心不全看護認定看護師 福田 紘
- 循環器病総合支援センターについて... 京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター 櫻木 知子

開催方法：zoom配信  
参加 QRコード⇒

https://zoom.us/j/95833505474?pwd=2rvsNTmqeEWcpI2b4lIETowc8V501x.1  
ミーティングID: 958 3350 5474  
パスワード: 574738

お問合せ：京都心不全ネットワーク事務局  
075-251-5824：AM9～12 PM13～16 (8/10～8/18除く)

**10/31**  
(木)  
12:30 開始  
約30分予定

京都心不全ネットワーク協議会主催講演会  
在宅でのケアにあたる医療・介護従事者対象  
**在宅で心不全をみるには…**

超高齢化社会を迎え、心不全パンデミックの懸念がひろがっています。在宅でのケアにあたられている支援者の皆様、どなたでも参加できる講演会を予定しています。ふるってご参加ください。

- 心不全とは... 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科 講師 白石 裕一
- 在宅での内服指導について... 京都府立医科大学附属病院 薬剤師 高取 里帆
- 在宅での栄養指導について... 京都府立医科大学附属病院 管理栄養士 金井 里英
- 循環器病総合支援センターについて... 京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター 櫻木 知子

事前申し込み 不要 開催方法：zoom配信  
参加 QRコード⇒

参加 Zoom ミーティング  
https://zoom.us/j/95206901277?pwd=HjChI2HDNjSyXnBL4FE6ZuwPufPNfZ.1  
ミーティングID: 952 0690 1277  
パスワード: 611716

お問合せ：京都心不全ネットワーク事務局  
075-251-5824：AM9～12 PM13～16

# “京都心不全ネットワーク”

京都の心不全予後改善を目的として地域全体で共通の心不全指導を目指す取組

2019年8月発足

代表：的場 聖明

(京都府立医科大学 循環器腎臓内科)

- 京都府立医科大学附属病院 ■京都第一赤十字病院
- 京都第二赤十字病院 ■京都市立病院
- 地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター
- 洛和会音羽病院 ■亀岡市立病院 ■京都中部医療センター
- 京都府立医科大学附属北部医療センター
- 舞鶴共済病院 ■岡本記念病院 ■市立福知山市民病院
- 康生会武田病院 ■洛和会丸太町病院 ■西陣病院
- 済生会京都府病院 ■洛西ニュータウン病院
- 田辺中央病院 ■京都民医連中央病院 ■きづ川病院
- 山城総合医療センター ■京丹後市立弥栄病院
- 綾部市立病院 ■医仁会武田病院 (順不同)

2024年8月現在の参加医療機関(病院のみ記載)





# ⑩循環器病に関する適切な情報提供や相談支援

厚生労働省 第2期循環器病対策推進基本計画 概要

実施目標 2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年間罹患率の減少

【重点】 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進、重症化の防止、患者の生活の質の向上、医療費の適正化

1. 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進
  - ① 生活習慣病の予防・早期発見・早期治療の推進
  - ② 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進
  - ③ 循環器病の予防・早期発見・早期治療の推進
2. 重症化の防止、患者の生活の質の向上、医療費の適正化
  - ① 重症化の防止、患者の生活の質の向上、医療費の適正化
  - ② 重症化の防止、患者の生活の質の向上、医療費の適正化
  - ③ 重症化の防止、患者の生活の質の向上、医療費の適正化

【関係機関】 関係機関との連携・協力の推進

【関係機関】 関係機関との連携・協力の推進

## I. 循環器総合支援センターの設置・パンフレット配布



子供から大人まで受け付けています

循環器病総合支援センター 脳卒中相談窓口

相談時間  
月～金(土日除く)  
午前9時～12時  
午後1時～4時  
場所  
外東診療棟1階  
②地域医療連携室  
電話  
075-251-5824  
お電話でも直接お越し  
いただいても結構です

誰かに話したい時、相談したい時  
いつでも相談支援センターに  
ご連絡ください

京都府立医科大学附属病院  
〒605-0858 京都市上京区西木町5-1-1 総合病棟100  
循環器病総合支援センター 脳卒中相談窓口  
TEL 075-251-5824

循環器病総合支援センター  
脳卒中相談窓口  
のご案内

京都府立医科大学附属病院

循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口は...

京都府立医科大学附属病院では、患者さんやご家族のほか、地域の方々からさまざまな疑問や不安、悩みにお応えするために「循環器病総合支援センター・脳卒中相談窓口」を開設しています。

あなたの気持ちに寄り添います

たとえば、こんなとき...

- 自分の病気について説明はされたけどよくわからなかった
- これらのリハビリや運動について、毎日の生活について
- 仕事や学校と治療の両立について
- 気持ちがなかなか落ち着かなくて、時々悲しみを覚えてくれないかな...
- もう一度、社会復帰について聞きたいかな...

※担当室に代わり治療について判断するところではありませんので、ご了承ください。

## II. 京都府医師会のオンラインネットワーク連携 多職種連携心不全手帳作成および病院間のみならず お薬手帳シールを介して院外薬局とのネットワーク構築



心不全シール

貼付日: / /

(該当するものに○) HFpEF・HFmrEF・HFrEF

検査日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
BNP (pg/mL)							
NT-proBNP (pg/mL)							
目標体重 (kg)							
薬物承認 (✓)							

作成：京都心不全ネットワーク協議会

心不全患者の遠隔モニタリングシステムの開発

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

心不全患者の遠隔モニタリングシステムの開発

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

心不全が重くなる前に、病状を把握し、適切な治療を受けることが重要です。

## III. 心不全患者の遠隔モニタリングシステムの開発